

えち ぜん むり ばし  
越前塗箸



やく ねん れきし も でんとうこうげい

## 約1500年の歴史を持つ伝統工芸

やく ねんまえ ふくいけん そだ けいたいてんのう おうじ  
約1500年前、福井県で育った継体天皇がまだ皇子だったころ、  
げんざい さばえし むりし こわ かんむり なお くらぬ  
現在の鯖江市にいた塗師が、壊れた冠を直したときに、黒塗りの  
わん そ おうじ あ  
お椀を添えて皇子にさし上げました。

おうじ みごと で きばえ かんどう しつき おこな つよ  
皇子は、見事な出来栄えに感動し、漆器づくりを行うよう強くすすめ  
ました。

ご さばえ しつき えちぜん しつき  
その後、鯖江では漆器がつくられるようになり、越前漆器とよばれ  
ています